



## 平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月30日

上場会社名 イー・ガーディアン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6050 URL <http://www.e-guardian.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高谷 康久  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 溝辺 裕 TEL 03-5575-2561  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績（平成26年10月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	696	13.8	64	3.7	64	△6.4	34	△30.3
26年9月期第1四半期	612	1.1	61	△8.0	68	2.2	48	22.1

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 34百万円 (△30.3%) 26年9月期第1四半期 48百万円 (22.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	21.09	20.89
26年9月期第1四半期	29.94	29.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期第1四半期	1,446	1,115	76.9	691.05
26年9月期	1,423	1,100	77.1	680.34

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 1,112百万円 26年9月期 1,097百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	12.00	12.00
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成27年9月期の1株当たりの配当金につきましては、現在未定です。

### 3. 平成27年9月期の連結業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,381	12.7	101	4.7	127	7.1	68	△11.6	42.27
通期	2,809	13.7	214	6.9	250	6.1	143	7.6	88.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）トラネル株式会社、除外 0社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期1Q	1,698,800株	26年9月期	1,698,800株
② 期末自己株式数	27年9月期1Q	84,947株	26年9月期	84,947株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期1Q	1,613,853株	26年9月期1Q	1,631,381株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、現政権による経済、金融政策などの効果もあり、企業収益や雇用情勢は改善し、緩やかながら景気は回復基調で推移したものの、新興国経済の減速や近隣諸国との政治的緊張、さらには円安による原材料価格の上昇など、国内外の先行きは依然として不透明な状況となっております。

一方、モバイルを含む国内のインターネット関連市場におきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及を背景にソーシャルゲーム市場をはじめ、引き続き市場成長が継続しており、今後もインターネットにおける技術革新はますます進み、様々なサービスが展開されていくものと予想されます。

また、投稿掲示板やブログ・SNSなどのコミュニティサイトを含むソーシャルWEBサービス（※）の活性化が進む一方で、こうしたソーシャルWEBサービスを利用したネットワーク犯罪やなりすましによる不正アクセス禁止法違反等のサイバー犯罪は年々増加傾向にあるため、ユーザーが安心して利用できるようソーシャルWEBサービスの安全性を求める声は一層高まりを見せており、投稿監視やカスタマーサポート（以下、「CS」という）のニーズはますます増加しております。

## 用語説明

（※） SNSやブログ等のソーシャルメディアや、ソーシャルゲーム、ソーシャルコマースなどの個人同士双方向のコミュニケーションが介在する全てのインターネットメディア

このような環境のもと、当社は多様化する顧客ニーズやデバッグ需要に対応すべく、平成26年10月1日を効力発生日として、会社分割により当社100%出資の子会社「トラネル株式会社」を新設し、デバッグ業務を新会社に集約いたしました。同業務を子会社化することにより、ノウハウをさらに蓄積してサービスの付加価値を高め、事業拡大及び収益性向上を目指しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は696,976千円（前年同四半期比13.8%増）、営業利益は64,164千円（前年同四半期比3.7%増）、経常利益は64,206千円（前年同四半期比6.4%減）、四半期純利益は34,037千円（前年同四半期比30.3%減）となりました。

当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はありません。業務の種類別の業績は以下の通りであります。

## ① ソーシャルサポート

近年急成長しているソーシャルメディアにおいて、監視・CSだけではなく運用や分析といった多種多様な新サービスの展開や大型案件の獲得に注力いたしました。また、自動識別型画像フィルタリングシステム「ROKASOLUTION」によりサービスの付加価値を高めることで既存顧客への深耕営業や新規開拓、競合からのスイッチングを図り、シェア拡大を目指してまいりました。

その結果、売上高は326,043千円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

## ② ゲームサポート

豊富な運用実績とノウハウの蓄積により既存顧客との関係の強化を目指すと同時に、コンシューマー向けゲームを作成している大手企業からの新規案件獲得に注力いたしました。また、市場の拡大が続いているソーシャルゲームにおけるサービス展開に注力するとともに、多様化する顧客ニーズやデバッグ需要に対応すべく、会社分割によりトラネル株式会社を新設し、デバッグ業務を新会社に集約することで、ノウハウをさらに蓄積してサービスの付加価値を高め、事業拡大及び収益性向上を目指してまいりました。

その結果、売上高は249,810千円（前年同四半期比9.7%増）となりました。

③ アド・プロセス

既存の広告審査業務だけでなく、広告枠管理から入稿管理、広告ライティング等の提供サービスの拡大に注力するとともに、広告入稿管理業務を円滑に実施するための独自システム開発をセットで販売することで競合他社との差別化を図り、既存顧客の深耕や新規開拓、大型案件の獲得を目指してまいりました。また、顧客へ常駐し業務を実施する常駐型案件の獲得にも注力いたしました。

その結果、売上高は92,206千円（前年同四半期比20.7%増）となりました。

④ その他

平成26年9月に株式会社パワーブレインを連結子会社化したことにより、人材派遣業務が新たに当社グループの業務となりました。当社グループ全体の人材を採用・育成し、顧客先常駐（派遣型）ニーズに応えることで規模拡大を図ってまいりました。

その結果、売上高は28,915千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,213,766千円となり、前連結会計年度末における流動資産1,190,089千円に対し、23,676千円の増加（前連結会計年度末比2.0%増）となりました。

これは主に、現金及び預金が27,869千円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、232,514千円となり、前連結会計年度末における固定資産233,435千円に対し、921千円の減少（前連結会計年度末比0.4%減）となりました。

これは主に、有形固定資産が12,268千円増加した一方、無形固定資産及びその他の投資資産が13,189千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,446,280千円（前連結会計年度末比1.6%増）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、331,026千円となり、前連結会計年度末における負債323,361千円に対し、7,665千円の増加（前連結会計年度末比2.4%増）となりました。

これは主に、未払法人税等が29,305千円減少した一方、未払金が36,639千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,115,253千円となり、前連結会計年度末における純資産1,100,163千円に対し、15,089千円の増加（前連結会計年度末比1.4%増）となりました。

これは主に、利益剰余金が14,671千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の連結業績予想（第2四半期（累計））につきましては、最近の業績動向及び今後の見通し等を勘案し、平成26年11月5日に公表いたしました業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、本日公表の「第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、平成26年10月に新たに設立したトラネル株式会社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	841,270	869,139
売掛金	291,271	304,563
仕掛品	1,569	1,923
繰延税金資産	27,689	16,419
その他	28,288	21,720
流動資産合計	1,190,089	1,213,766
固定資産		
有形固定資産	35,816	48,084
無形固定資産		
のれん	38,892	36,237
ソフトウェア	78,839	72,248
その他	311	311
無形固定資産合計	118,043	108,797
投資その他の資産	79,575	75,632
固定資産合計	233,435	232,514
資産合計	1,423,525	1,446,280
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,686	9,172
未払金	170,042	206,682
未払費用	9,014	4,947
未払法人税等	38,660	9,354
未払消費税等	39,171	38,447
賞与引当金	46,949	27,897
その他	7,837	31,066
流動負債合計	323,361	327,568
固定負債		
その他	—	3,458
固定負債合計	—	3,458
負債合計	323,361	331,026
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	340,059	340,059
資本剰余金	297,309	297,309
利益剰余金	581,638	596,310
自己株式	△121,043	△121,043
株主資本合計	1,097,964	1,112,635
新株予約権	2,199	2,617
純資産合計	1,100,163	1,115,253
負債純資産合計	1,423,525	1,446,280

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	612,609	696,976
売上原価	428,665	485,634
売上総利益	183,943	211,341
販売費及び一般管理費	122,091	147,176
営業利益	61,852	64,164
営業外収益		
受取手数料	—	232
補助金収入	6,469	—
その他	595	31
営業外収益合計	7,065	264
営業外費用		
支払利息	—	36
為替差損	201	185
支払手数料	98	—
その他	—	0
営業外費用合計	299	222
経常利益	68,617	64,206
特別損失		
固定資産除却損	—	1,145
事務所移転費用	—	353
特別損失合計	—	1,499
税金等調整前四半期純利益	68,617	62,706
法人税、住民税及び事業税	10,393	12,722
法人税等調整額	9,378	15,946
法人税等合計	19,772	28,669
少数株主損益調整前四半期純利益	48,845	34,037
四半期純利益	48,845	34,037

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	48,845	34,037
四半期包括利益	48,845	34,037
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,845	34,037



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。